



ブラジル：トラック輸送業界のストライキと市場動向

- 5月28日のボベスパ指数は前日比4.5%の大幅下落に。レアルの対米ドル相場は前日比2.2%のレアル安・米ドル高。
- 燃料価格の高騰に抗議したトラック運転手のスト長期化が背景。5月28日にはトラック運転手のストは8日目に突入。
- 政府は5月27日、60日間のディーゼル価格引き下げを含む提案を公表。主要業界団体はスト終了の意向を表明。
- 今後は政府提案を受けてスト収束の動きが広がるかが焦点。ブラジル中銀はストの政策への影響は限定的との見方。

株安・レアル安となった5月28日のブラジル市場

5月28日のブラジル金融市場は、ボベスパ指数が前日比4.5%の大幅下落となったほか、レアルの対米ドル相場は前日比2.2%のレアル安・米ドル高(対円相場は前日比2.3%のレアル安・円高)となりました(図1・2)。

トラック運転手のスト長期化が市場の調整の背景

5月28日のブラジル金融市場が大きく調整した背景には、燃料価格の高騰に抗議したトラック運転手による全国規模のストライキが長期化しつつあることが挙げられます。

5月21日に始まったストライキは、一時は5月24日に政府側とトラック運転手代表側との間でストライキ収束に向けた合意が結ばれたと報じられたものの、その後もストは継続され、5月28日にストライキは8日目に突入しました。

テメル大統領はスト収束に向けた追加提案を公表

ストライキの収束に向けて、テメル大統領は5月27日夜、60日間のディーゼル価格の引き下げを含む追加提案を公表しました(図3)。テメル大統領の提案を受けて、主要な業界団体はストライキを終了させる意向を示しています。

ただ、全国規模のストライキは複数の業界団体や業界団体からは独立した自営の運転手などが主導していることから、政府側の提案の浸透に時間がかかっている模様です。今後は政府の提案を受けて、トラック運転手側にストライキ収束に向けた動きが広がるかが焦点となりそうです。

ブラジル中銀はストの影響は限定的との見方

ブラジル中銀のゴールドファイン総裁は5月28日、トラック運転手のストライキによるインフレへの影響は一時的に留まり、金融政策に影響する可能性は低いとの見方を示しました。今後は、ストライキが短期間で収束に向かうかどうかや、レアル相場の行方が金融政策の先行きを左右する注目材料となりそうです。

図1:ブラジル・ボベスパ指数(株価指数)の推移



(出所)ブルームバーグ (期間)2015年1月2日~2018年5月28日

図2:ブラジル・レアル相場の推移



(出所)ブルームバーグ (期間)2015年1月1日~2018年5月28日

図3:トラック業界へのテメル大統領の追加提案

- ディーゼル価格を60日間、リットル当たり0.46レアル引き下げる(直近の全国平均価格から約12%の値下げ)。
- その後は月1回、ディーゼル価格の調整を行う。
- 積荷が空のトラックには高速道路の通行料を課さない。
- 配給会社の輸送業務の3割は自営トラック運転手に回す。
- 輸送料の最低価格を新たに設定する。

(出所)各種報道、ブラジル国家石油庁(ANP)

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。